

# 小平市議会定例会 一般質問通告書

質問の方式 一問一答方式

質問件名 障がい者を含めたインクルーシブ防災について

## 【質問要旨】

東日本大震災や熊本地震などの大災害は記憶に新しいところですが、小平市でも首都直下型地震や立川断層の影響で大きな地震が起こったときには甚大な被害が出るのが予想されています。

大規模な災害の発生時には建物の倒壊や火災、インフラがストップするなどして多くの住民が避難所を利用します。二次避難所が開設されるまでの一次避難所では高齢者や障がい者、難病患者、妊産婦など配慮が必要な方も一緒に避難するケースも考えられます。

2011年に発生した東日本大震災では夜中にパニックになり大声をあげてしまうので避難所に居づらくなった発達障がい児の親子、健聴者とのコミュニケーションに不安を感じ避難所に行けなかった聴覚障がい者の方、周囲の状況が分からず孤立してしまった視覚障がい者の方など避難生活に不安を感じた障がい者の声が多くありました。

東日本大震災での障がい者の死亡率は被災住民全体の死亡率の2倍に上がっていたことを考えると、これら要配慮者への支援は今後の防災対策には不可欠です。

これらのことを受け、2015年に仙台市で開かれた国連防災世界会議で注目された防災の考え方がインクルーシブ防災です。障がい者を含む、あらゆる人の命を守ることを目標とし、インクルーシブ防災実現のためには、防災に障がい者自身の視点を取り入れ、障がい者自らが主体的な役割を果たすことや、地域や社会全体で障がい者を包含し、支えてゆく仕組み作りが必要だと考え、誰もが取り残されないインクルーシブな防災を目指していくために以下質問をします。

- ① 避難所管理運営マニュアルを作るための避難所開設準備委員会に障がい者自身はメンバーに入っていますか。
  - ② 小平市では総合防災訓練を行っていますが、障がい者を対象とした防災訓練を行う計画はありますか。
  - ③ 要配慮者のための防災行動マニュアルによると二次避難所として33か所指定されていますが、その定義とは。また災害時には要配慮者ごとに振り分けを行うのですか。
  - ④ 防災倉庫の備品の中にコミュニケーションを補うためにコミュニケーションボードを準備していますか。
  - ⑤ 災害時、トイレの問題は大変重要です。視覚障がい者や車いすを利用する方の利用についてどのような配慮がされていますか。
  - ⑥ 避難所において手話通訳者や要約筆記者の派遣の要請があった場合に応じることはできますか。
- 上記のとおり、小平市議会会議規則第57条第2項により通告します。

2017年 8 月 28 日 小平市議会議長 殿 小平市議会議員 氏名 山崎 とも子

受付番号【           】

27	26	25	24

-(    /    )